

小栗判官伝説

てるてひめ

室町時代におこったとされる小栗判官と照手姫の物語は、書物のほか説経節、浄瑠璃、歌舞伎の題材として庶民に広まりました。藤沢では遊行寺のほか、西俣野にもゆかりの場所が残されています。

【ものがたり】

その昔、都の高貴な出の小栗判官は常陸国に流されます。そこで、武蔵・相模国の郡代横山氏の娘、照手姫の美しさを聞き強引に婿入りし、怒った横山氏に毒殺されます。地獄に堕ちた小栗判官は閻魔大王により地上に戻されますが、元の姿とは変わり果てた姿に。一方、照手姫は、人買いに売られ遊女屋で下女づとめをさせられます。苦難の末、2人が再びめぐりあうまでが描かれています。

花應院



1月・8月に行われる閻魔まつりでは、小栗判官縁起絵と閻魔王十王図の絵解きが行われます。

☎ 西俣野866 ☎ 0466-81-3566

えんまどうあと 閻魔堂跡

墓域内に「小栗墓塔」と刻まれた石塔がひっそりと建っています。

